

新戦車に関する外部評価委員会の概要

1. 評価対象項目

新戦車 [中間評価 (試作・技術試験中間時点)]

(計画担当 : 技術開発官 (陸上担当))

2. 評価対象事項

動力装置関連技術全般

3. 事業の概要

(1) 開発の目的

現有戦車の後継として戦車部隊に装備し、対機甲戦闘・機動打撃及びゲリラ・コマンドウ攻撃対処に使用する新戦車を開発する。

(2) 開発期間

平成 1 4 年度から平成 2 0 年度にかけて技術開発を実施

(3) 運用構想

別紙 1 参照

(4) 技術試験概要

別紙 2 参照

4. 外部評価委員会の概要

(1) 開催日 : 平成 1 8 年 3 月 2 0 日

場 所 : 防衛庁技術研究本部

(2) 評価委員 (職名は委員会開催時点、敬称略)

(委員長) 神本 武征 (東海大学 教授)

飯田 訓正 (慶応義塾大学 教授)

井元 浩二 (武蔵工業大学 教授)

庄司 秀夫 (日本大学 教授)

(3) 説明者 : 技術開発官 (陸上担当) 付 新戦車開発室

室 長 前釜 安孝

室 員 白石 泰夫

(4) 技術試験結果の概要等

別紙 3 参照

(5) 議論・質疑が集まったところ

- 戦車のエンジンの出力余裕
- 燃費と走行条件の関係
- 台上試験機関の吸排気条件
- エンジン排気の黒煙発生状況について
- 車両質量あたりの出力
- 試作エンジンの正味平均有効圧力
- エンジンの遮熱化の効果
- エンジンのセラミックコーティングの厚さと耐久性
- 無段階自動変速操向機の有効性

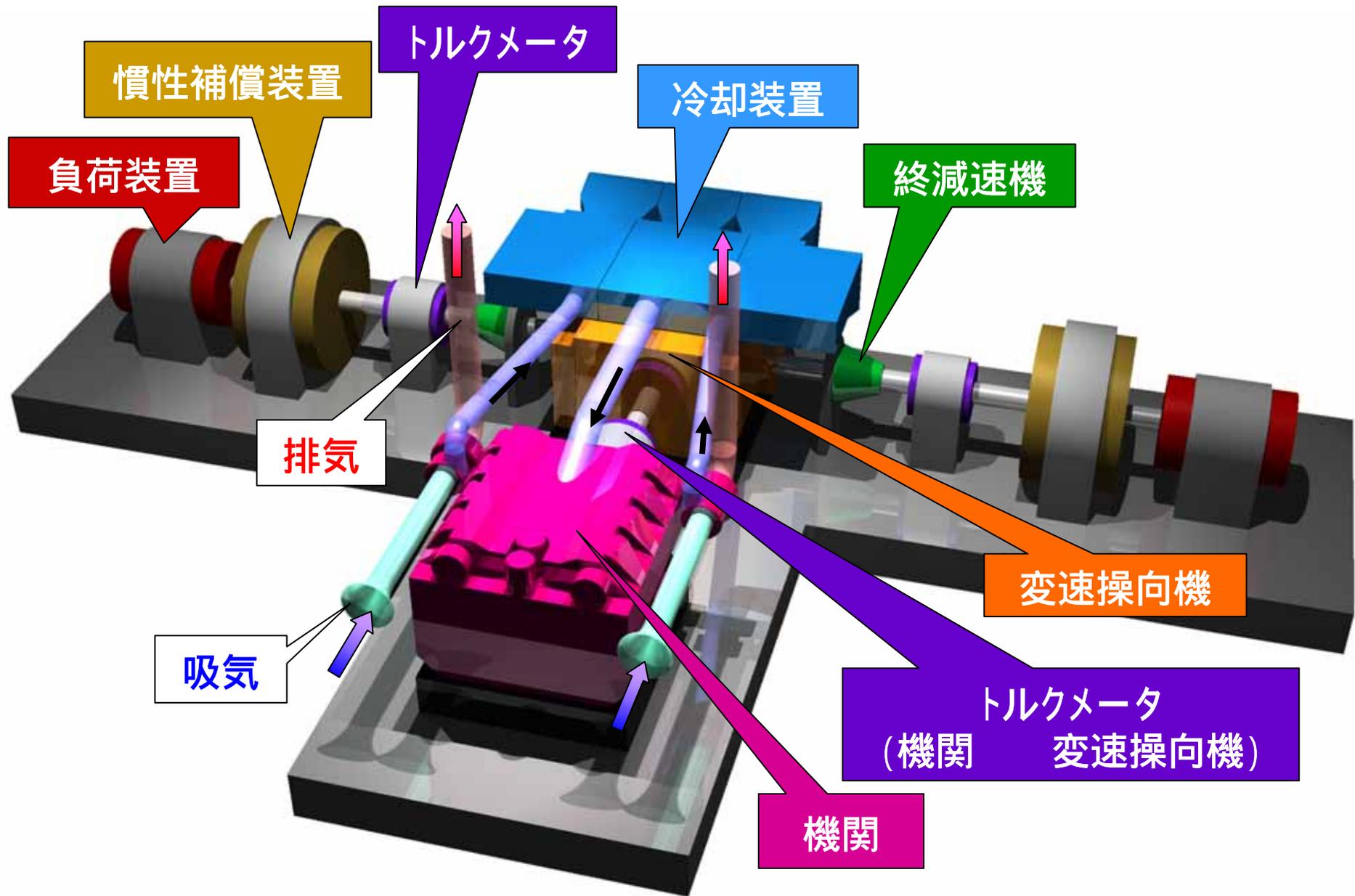
(6) 頂いたコメント、提言等

- 燃費の評価には、実際の使用条件を考慮した評価基準を定めることが必要
- 遮熱化の効果は冷却装置の小型化に寄与しているようであるが、今後費用対効果を含めた総合的検討が必要
- 無段階自動変速操向機は、車両の走行条件に応じ、動力装置の特性を柔軟に調整可能なものであり、良く工夫されている

(7) 外部評価委員会まとめ

- 本試作の台上試験用動力装置は技術的に妥当なものと考えられる。
- 動力装置の車載時の評価を期待する。

技術試験概要 (動力装置台上試験概略図)



技術試験結果の一例
(動力装置走行性能線図)

